

子どもが安心して、学校に行きたいと思える毎日を ②

城見小学校では、就学前教育の推進に伴って、昨年度から城見保育所との連携教育に取り組んでいます。そこで、入学した1年生が保育所での幼児教育から小学校教育へスムーズに移行できるようにするための「スタートカリキュラム」を作成しました。

この「スタートカリキュラム」をもとに、1年生の入学から約1か月間の取り組みを少しずつ紹介します。

給食って楽しいな

給食は、1年生にとって学校生活の楽しみの一つです。

給食がスタートして2週間は、6年生に配膳や片付けをお任せしていましたが、保育所でも年長児の2月から

小学校と同じようにおかずを盛りつけたり配膳したりしていた1年生は、給食当番の仕事にもすぐに慣れました。とはいっても、盛りつけは難しく、汁や具の量を考えて入れたりこぼさないようにしたり・・・悪戦苦闘の毎日です。

保育所の頃に比べると、食器や牛乳、おかずが重くて、教室まで運んでくるのが大変ですが、張り切ってやっています。

配膳台の机やみんなの机をふいたり、ごみを入れる袋を用意したりする仕事にも率先して取り組んでくれる1年生。



〈保育所の頃〉

20分くらいの時間で残さず食べるのはなかなか大変です。時間内に全部食べられると先生からもらえるシールを楽しみに、みんながんばっています。



〈1年生になって〉



いくつシールがたまるかな？

ラーメンやうどんなどの麺の出る日は、袋から麺を取り出すのもなかなか難しい子どもたち。麺を4等分してから平皿に出すのも次第に自分のできるようになりました。

ここは、給食が運ばれてくるコンテナ室だよ。きちんと並んで取りに来てね！



給食の準備や片付けが上手になったら、食事のマナーやメニューについても勉強していこうね！